

コンサートレポート

牛久シニアアンサンブル第一回定期演奏会

GW直前、桜もソメイヨシノから八重に切り替わった卯月21日(土)の午後、第一回目の定演を開催しました。2016年の4月に産声をあげて漸く2歳を迎えての定演です。定演の会場は発足記念の時と同じ、牛久駅前のエスカードスタジオ(253席)で2時からの開演で幕開けとなりました。

総員32名、菅先生のタクトで<ロンドン>を皮切りに演奏に突入です。今回は4部構成のプログラムで、Ⅰ部：クラシック、

Ⅱ部：世界の民謡、Ⅲ部：日本の歌曲、Ⅳ部：映画音楽等の15曲。司会進行の取手SEの柿本氏の軽妙かつウィット充分のトークのお蔭で幕開けから会場は笑いとアットホームな雰囲気になり、市長挨拶が続き、ゲストにお招きしましたバリトンの遠西氏と会場来演者との大合唱で定演のムードは最高潮に達しました。あっという間に全曲を終え万雷の拍手にお答えしましてアンコールとなりました。今後の反省課題としては、会場の収容数の面が残りしました。残念ながら数十人の方にも入場お断りとなってしまいました。次回の定演では大ホール(500席以上)への用意が必要と痛感しています。これからも地域の皆さんに愛され、支持される楽団であり続け、楽しい音楽の贈り物をプレゼントできるよう、さらに一層の研鑽を重ねてゆければと願っています。 牛久シニアアンサンブル 副代表 田淵 崇



“成田SE青空 第三回定期演奏会”



五月晴れの5月12日、成田国際文化会館で第三回定期演奏会を開催いたしました。第1部はクラシック。G線上のアリアから始まるバッハのメドレー3曲を含め9曲の構成です。歌劇『カルメン』からは4曲演奏しましたが、最初の『闘牛士の歌』には会場から「ブラボー！」のお声があり思わず口元が緩んだ瞬間もありました。第1部最後は当団指揮者成島弘先生の編曲による『新世界より』で、お客様から編曲が「ドラマチックで良かった。」との感想をいただいています。2部はスクリーンワルツメドレーと日本のポップス、タンゴ計10曲の演奏で、アンケートに依るとお客様が若いころ観た映画、憧れの銀幕のスターやポップスが流行った頃の思い出と重ね合わせて楽しんでいただけたようです。また、評価での第一位は『ハンガリー舞曲第1番』で「幻想的な音色、弾むようなメロディの演奏が素晴らしい！」とのコメントもいただきました。

ました。お帰りの際「良かったよ。また必ず来るね。」とお声がけいただいたお客様の笑顔に心に刻み、お客様の心に『青空』をお届けする演奏ができるよう練習に励みたいと思います。 成田シニアアンサンブル青空 関口純代

去る6月4日、千葉シニアアンサンブル・それいゆの第5回定期演奏会が開催されました。発足後丸10年の節目の年にあたり、会場は第1回定期演奏会と同じ千葉市民会館大ホールでありました。両者を比較しますとまず演奏曲目は；第1回：オモチャの交響曲等クラシック曲6曲、ポップス系5曲、タンゴ2曲 第5回：フィンランディア他クラシック曲6曲、映画音楽6曲、タンゴ2曲、シャンソン・ポップス系3曲、歌伴（会場合唱含む）3曲。賛助出演の有無で、演奏曲数は第5回が多くなっていますが、幅広いジャンルを皆で楽しもうというスタンスは継続されています。出演人数は第1回29名、第5回30名でほとんど差は有りません。楽器の構成もエレキのベースがコントラバスになったくらいで変化は有りません。ただ、第1回に参加した者のうち第5回に出演した人数は僅か6名、また第1回の出演者で鬼籍に入られた方が3名居られ、茲に大きな時の流れを感じます。当団は定期演奏会後に気鋭の若手指導者を迎え、新たな一歩を踏み出しました。更なる高みに向かって精進しております。次回の定期演奏会を楽しみにお待ちください。千葉シニアアンサンブル・それいゆ 川野正彦

